

まだまだまだ続く…



体調を崩さないよう気をつけたいこと

今後も予想される厳しい暑さ

いよいよ夏の暑さも最高潮となります。8月は1年で最も気温が上昇する月です。まさに「異常」ともいえる近年の暑さ。報道では、毎日のように全国の最高気温のニュースがトップで報じられます。地球温暖化が叫ばれるようになって久しくなりますが、夏の気温は毎年上昇しているように思えます。

下のグラフは、益城町の過去3年の8月、9月の最高気温を日ごとに表したものです。

赤線で示した平成28年の最高気温が

明らかに高いことが、一目で確認できます。特に8月後半は顕著で、23日には最も高い37・3度を記録しています。9月に入ると少し落ち着きをみせますが、26日に33・1度を記録するなど、厳しい暑さが続いています。

人口10万人当たりの熱中症救急搬送数は、熊本県が全国トップ

昨年は、前述のような酷暑により、5月から9月までの熱中症による救急搬送人員（人口10万人当たり）は、熊本県が全国で最も多くなっています。

日本気象協会による今年8月、9月

の気温予想では、平年より高い確率が50%となっており、今後、昨年並みの暑さになることも考えられ、今年も注意が必要です。そこで今回、気をつけたい熱中症対策などの主なものについて、いくつかピックアップします。油断せず、体調管理に留意し、もうしばらく続く厳しい暑さを乗り切りましょう。

【過去3年の8・9月の最高気温】(益城町)

